

第10回 全国被災地 語り部シンポジウム in 阪神・淡路

30年の語り継ぎ～多世代の語り部

参加
無料

要 事前申込
(定員100名)

2024年12月7日(土) 兵庫県淡路市

8日(日) ホテルオークラ神戸
(神戸市中央区波止場町2-1)

あなたも語り部～

南海トラフ巨大地震、首都直下地震など大災害が予測される今、防災・減災を考える誰もが語り部です。
30年を乗り越えた人、震災後に生まれた人、多世代が集い交流し、つながることで未来を一緒に考えます。



プログラム

■12月7日(土) 阪神・淡路大震災 30年の復興まちあるき

【第1部】13:00～16:00 淡路市(旧北淡町)小倉・富島
北淡震災記念公園 野島断層保存館
富島地区 復興まちあるき(震災復興土地区画整理事業)



北淡震災記念公園 野島断層保存館



旧北淡町富島地区 1995年1月17日午前

プログラムの詳細・参加申込方法は裏面をご覧ください



シンポジウムHP

◀ <https://www.nojima-danso.co.jp/kataribe5>

<https://forms.gle/Y27UbWARdEYvQNW46> ▶



申込フォーム

■12月8日(日) 阪神・淡路大震災 30年の語り継ぎシンポジウム

【第2部】10:30～11:30 震災メモリアルパーク復興まちあるき
避難路を歩く(神戸市帰宅困難者支援システム)

【第3・4部】13:00～15:30

- 開歌 復興カウンタータ 飯田 美奈子・三野 瑞枝
- 開催挨拶 実行委員長 山地 久美子
- 歓迎挨拶 神戸市長 久元 喜造
- 来賓挨拶 淡路市長 門 康彦
- シンポジウム 阪神・淡路大震災から次の災害へつなぐこと

○対談 「地域の歴史から災害を伝える」
奥村 弘 神戸大学理事・副学長・地域連携推進本部長
杉本 伸一 雲仙岳災害記念館館長

○対話 「阪神・淡路からつながる多世代の語り部」
米山 正幸 北淡震災記念公園総支配人(阪神・淡路大震災)
日比野純一 エフエムわいわい理事(阪神・淡路大震災)
松井 智美 旧山古志村・木籠集落「郷い庵」(新潟県中越地震)
阿部 恵子 南三陸ホテル観洋女将(東日本大震災)

○紹介 宮口 智美 Reboot珠洲・見附島観光協会(能登半島地震)

【第5部】15:30～17:10 語り継ぎワークショップ(3分科会)

分科会1 いろいろな形、多様な災害の語り継ぎ
分科会2 阪神・淡路大震災 30年の語り継ぎとこれから
分科会3 阪神・淡路からつながる多言語の語り部

【第6部】17:10～17:30 閉会 総括・「阪神・淡路語り部宣言」

【第7部】17:45～19:00 未来セッション「新しい語り部」

<パネル展示> 全国の被災地語り部の取組み / 語り部ぼうさい俳句

■主 催：第10回全国被災地語り部シンポジウム in 阪神・淡路実行委員会

(野島断層保存館 / 北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア / FMわいわい / 多文化と共生社会を育むワークショップ
オペラ・ディ・フィオーレ / 雲仙岳災害記念館 / オールみぶね恐竜の郷復興プロジェクト / 南三陸町地域観光復興協議会)

■共 催：科学研究費 学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽)課題番号20K20781

◆特別協力：株式会社ほくだん 南三陸ホテル観洋

◆後 援：兵庫県 兵庫県教育委員会 神戸市 神戸市教育委員会 淡路市 淡路市教育委員会 NHK神戸放送局 サンテレビジョン 神戸新聞社 ラジオ関西

朝日新聞神戸総局 読売新聞神戸総局 毎日新聞神戸支局 産経新聞神戸総局 共同通信社 時事通信社 神戸大学地域連携推進本部 大阪公立大学地域防災センター



この事業は「公益財団法人ひょうご震災
記念21世紀研究機構」補助金を財源と
する「ひょうご安全の日推進委員会」の
助成を受けて事業を行っています。

ひょうご安全の日推進事業